

カマカマダンス

一巻ん みやた あいか

わたしは、むしがこあい。大きなアリにか
まれたことがあるから。またかまれそうだから。
かまないと分かっているがも、ちかくに
きたら、びびるだろう。

なつ休みにおねえちゃんのおたんじょう日
いあいで、キャンプじょうにいって。たっき
うやバトントンとたいいくかんでたのし
んだ。たいいくかんのまどのそとから、大き

なかマキリがわたしをまうえんしてくれてい
た。らじになつたので、出ようとしていたら、
ガラスのドアに小さなカマキリ。おじちゃん
かくびのうしろをつまんで、そいつとそとの
だいに出してあげた。

そしたら、そのこはおレリを上げてはげし
いかマカマダンス。あしでリズムをとりから
だをゆらしながらりよう手をふった。おまっ
ちやっただみたい。ガラスのドアがきに入って
たのかな？きもちよく、あていたのをおこ

れた？おこられたとおもったの？それとも、
すずしい中にいたかったのかな？あのままじ
ゃ、とじこめられちゃうんだよ。

おなえちゃんたちが、カマキリのまねをし
ておどっていった。あたしもたのしくなっ
て、おどった。なんでそうしたのか、もうおぼえ
ていないけれど、もっていたた。きゅうのラ
グットケースをだし出したりひっこめたり、
してみた。そしたら、カマキリがジャンプし
てケースにとびのってきた。おもくはなかつ

たけれどびっくりして、

「ギヤーツ」。

といってケースをはなしちゃった。いっしょ
におとしちゃって、ごめんなさい。カマカマ
ダンスはたのしかったよ。またジャンプであ
いたいな。